

時代に応じて移り変わるフォントは、定期的に見つめ直す必要があります。
読みやすい誌面作りを目指し、
空気を入れ替えるようにフォントを移行しました。

株式会社毎日コミュニケーションズが発行する「Mac Fan」は、1993年4月に創刊した老舗のApple製品専門誌だ。そのMac Fan編集部が、2010年6月号で誌面をリニューアル。制作ワークフローの面では、Adobe InDesign CS4を導入するとともに、MORISAWA PASSPORTを採用した。編集部やデザイナーが「読者が気づかないようなところで、読みやすくした」と語るリニューアル作業の内側について伺った。

InDesignのアップグレードと同時に MORISAWA PASSPORTを導入

株式会社毎日コミュニケーションズのApple製品専門誌「Mac Fan」は、2010年6月号から誌面を一新。本文書体を全てモリサワの書体に変更し、それを機にMORISAWA PASSPORTの導入も果たした。同時に、レイアウトソフトもAdobe InDesign CSからInDesign CS4へと変更した。同誌の編集長を務める小林正明氏は、今回の誌面リニューアルについて、次のように話す。

「Mac Fanは2003年のリニューアルで、本文を横組から縦組へと変えたのですが、このときからInDesignを導入しています。創刊から携わっていたアートディレクターの米谷テツヤ氏が、縦組を重視した組版エンジンを持つInDesignの将来性に着目していました。また、当時はInDesignが普及しておらず、編集者も操作に慣れていなかったもので、この機にInDesignへ移行すれば制作ワークフローの分業が、きっちりできるかと逆説的な思いで導入しました。編集者は編集者の仕事に集中してほしいからので。」(小林氏)

その後、InDesign CSにアップグレードして使用していたが、そこでいったんワークフローの進化は止まっていた。

「PowerPCのMacはサポートが終了していますし、マシンスペック的にも辛くなっています。OSも、編集者は10.6を使っているのに、DTP用マシンが10.3.9という状態でした。新しいiMacを導入するにしても、10.6なわけです。そろそろ移行しなくてはいけないタイミングかな……ということ、2009年の後半に話が動き始めました。その頃は、次期バージョンでの導入を考えていましたが、現状選べるもので、発売からある程度の時間も経ち、安定してきた感のあるCS4の導入を決めました。同時に、フォントライセンスもMORISAWA PASSPORTへと乗り換えました。」(小林氏)

モリサワ書体の「メジャー感」を活かした読みやすい誌面作り

制作ワークフローを一新させたリニューアルだが、では誌面はどうかというと、小林氏は次のように話す。

「今回のリニューアルでは、特集の切り口を変えたとか、連載を増やしたといったようなことは、とくに行っていません。それよりも、読者からは見えにくいところで変更を行っています。リニューアルという、ロゴまで変えるようなこともあると思います。しかしこのタイミングでは、雑誌として安定していることもあり、読者の方がすぐには気づかないところで、より読みやすくすることを心がけました。」

そして、小林氏が信頼を置くアートディレクターの米谷テツヤ氏は、誌面リニューアルのポイントとモリサワ書体のメリットについて、次のように話す。

「今回のリニューアルでは、誌面の雰囲気が変わるのだけれど、物理的にリニューアルの前と後を比べて“ココが変わった”というものではありません。例えるなら、空気を入れ替えるような感じでしょうか。例えば連載記事ではリニューアルによって大きくイメージを変えたいことはしていませんから、以前の他社書体に近いものを選んでいきます。モリサワ書体の強みは、ナンバーワンメーカーであるがゆえの、メジャー感だと思います。例えば他社のかた書体を使うと、マニアックな誌面に見えてしまうことがあります。一般の方に開かれた、誰でも手に取りやすいイメージとはちょっとずれてしまいます。」

使用するフォントのメーカーが変わるということに対して、編集者の間でとくに混乱はなかったという。編集部の小平淳一氏は「今回のリニューアルにあたって、どのように書体に変更になるのか、米谷氏にルール表を作っていただいたので、とくに困るということはありませんでした。」と振り返る。



株式会社毎日コミュニケーションズ
出版事業本部 編集第1部長
Mac Fan編集課 編集長
小林 正明氏



株式会社毎日コミュニケーションズ
出版事業本部 編集第1部
Mac Fan編集課
小平 淳一氏



株式会社パス
米谷 テツヤ氏



Mac Fan 6月号 (2010年4月27売り号) よりMORISAWA PASSPORTを採用。
誌面では「デザインにおけるフォントの力」としてモリサワフォント導入記事が掲載されている。

米谷氏の作成したフォント変更ルール。
これをベースにフォントが置き換えられ、
移行された。

読者層を考慮して書体の選択は あくまでもベーシックに

米谷氏の話にもあるように、使用する書体はベーシックなものが多い。現状では欧文も和文従属のものを使用しており、今のところ合成フォントも用いていない。これは、Mac Fanという雑誌のポジショニングとも大きく関わっている。

「Mac Fanの記事の7割は、実用的なハウツーなんです。そういった記事を求めている読者の方に、どうすればMac Fanをもう1号、もう1年買っていただけか。それには今以上にスタンダードな誌面を提供し、違和感なく読めるようにする必要があります。内容面では、読者とともに成長して内容がレベルアップし続けると、今度はついてこれない読者が出てきてしまう。そうならないように、常に注意しています。」(小林氏)

雑誌のポジショニング、読者ターゲットを考えれば、

今回のリニューアルが、編集者自身「読者が気づかないようなところで、読みやすくした」「見る人が見れば、わかるかもしれないという程度」と表現する内容であったのは当然だったのだろう。

今後は様子を見つつ、少しずつ使用する書体に変化を付けていく予定だ。米谷氏は「ひとまず合成フォントを使用せず移行しましたが、今後、かな書体に関しては変わっていきたく思います」と、そして小林氏は「アクセントとして、タイトル周りや見出しなどで、時期に応じて、米谷氏にいろいろと試していただければと思っています。そういう面では、MORISAWA PASSPORTのようなライセンス契約は、やはり便利ですね」と語る。

読者のことを考えて「スタンダード」を大事にし、大きいけれど「静かな」リニューアルを果たしたMac Fan。同誌の今後の誌面作りに、多くの読者も期待しているはずだ。

毎日コミュニケーションズ Mac Fan編集部

事業内容
Macプラットフォームを中心に
多種多様なMacファンニュースに
応える月刊雑誌。
「わかりやすく、楽しく、面白い、
Macのようなマガジン」がコンセプト。

<http://macfan.jp/>

株式会社 毎日コミュニケーションズ

所在地
東京都千代田区一ツ橋1-1-1
パレスサイドビル

設立
1973年8月15日

事業概要
コンサルティングを含む人材情報
サービス全般および出版・教育
事業

<http://www.mycom.co.jp/>

●使用書体／見出し:リウミン+秀英3号かな リード・本文:リウミン+アンチック 小見出し:UD新ゴ



お問合せ先
モリサワサポートセンター
フリーダイヤル: 0120-08-2253
TEL: 06-6647-2253
URL: www.morisawa.co.jp/font/passport/



モリサワ製品の不正コピーなど、違法行為にお気づきの方は
(社)コンピュータソフトウェア著作権協会(Tel.03-5976-5178)までご連絡ください。

※本仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※本カタログに記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。



株式会社モリサワ

- | | | | |
|--------|-----------|-------------------------|------------------|
| 本社 | 〒556-0012 | 大阪市浪速区敷津東2-6-25 | Tel.06-6649-2151 |
| 東京本社 | 〒162-0822 | 東京都新宿区下宮比町2-27 | Tel.03-3267-1231 |
| 仙台支店 | 〒984-0051 | 仙台市若林区新寺1-3-8 | Tel.022-296-0421 |
| 名古屋支店 | 〒460-0002 | 名古屋市中区丸の内1-5-10 | Tel.052-201-2341 |
| 札幌営業所 | 〒001-0010 | 札幌市北区北十条西2-6サウスシティ2F | Tel.011-700-0112 |
| 広島営業所 | 〒730-0805 | 広島市中区十日市町1-6-27広島印刷会館1F | Tel.082-296-1114 |
| 福岡営業所 | 〒812-0013 | 福岡市博多区博多駅東1-3-25 | Tel.092-411-5875 |
| 鹿児島営業所 | 〒890-0045 | 鹿児島市武1-11-7秋丸ビル | Tel.099-252-2255 |
| 岡山出張所 | 〒701-1214 | 岡山市北区幸川市場386 | Tel.086-284-9766 |